

歯 科 健 康 診 査

表1 年度別受診者数

区 分	受 診 者			受診団体
	総 数	男	女	
25年度	11 376 [*])	8 881	2 495	17
24年度	11 909	9 145	2 746	17
23年度	11 509	9 043	2 466	16

*) 独自方式で実施の440名含む

表2 歯周病検査（CPI）結果—歯周組織の状態について

区 分	受診者	0：健全		1：歯肉炎あり		2：歯肉炎+歯石あり		3：歯周炎あり		4：進行した歯周炎あり		記入無し		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	8 756	2 283	26.1	1 830	20.9	4 278	48.9	328	3.7	35	0.4	2	0.0
	女	2 180	899	41.2	506	23.2	755	34.6	16	0.7	3	0.1	1	0.0
	計	10 936	3 182	29.1	2 336	21.4	5 033	46.0	344	3.1	38	0.3	3	0.0
～29歳	男	3 731	993	26.6	812	21.8	1 857	49.8	67	1.8	2	0.1	0	—
	女	1 114	455	40.8	255	22.9	396	35.5	8	0.7	0	—	0	—
	計	4 845	1 448	29.9	1 067	22.0	2 253	46.5	75	1.5	2	0.0	0	—
30～39歳	男	3 811	1 060	27.8	789	20.7	1 830	48.0	123	3.2	9	0.2	0	—
	女	882	380	43.1	212	24.0	281	31.9	5	0.6	3	0.3	1	0.1
	計	4 693	1 440	30.7	1 001	21.3	2 111	45.0	128	2.7	12	0.3	1	0.0
40～49歳	男	742	148	19.9	149	20.1	372	50.1	64	8.6	9	1.2	0	—
	女	154	53	34.4	37	24.0	62	40.3	2	1.3	0	—	0	—
	計	896	201	22.4	186	20.8	434	48.4	66	7.4	9	1.0	0	—
50～59歳	男	387	67	17.3	71	18.3	190	49.1	48	12.4	10	2.6	1	0.3
	女	27	10	37.0	2	7.4	15	55.6	0	—	0	—	0	—
	計	414	77	18.6	73	17.6	205	49.5	48	11.6	10	2.4	1	0.2
60歳～	男	85	15	17.6	9	10.6	29	34.1	26	30.6	5	5.9	1	1.2
	女	3	1	33.3	0	—	1	33.3	1	33.3	0	—	0	—
	計	88	16	18.2	9	10.2	30	34.1	27	30.7	5	5.7	1	1.1

CPI：Community Periodontal Index

表3 口腔診査結果—歯の状態について

区 分	受診者	要治療歯のある人		1本		2本		3本		4本		5本以上		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総 数	男	8 756	2 995	34.2	1 463	16.7	671	7.7	359	4.1	190	2.2	312	3.6
	女	2 180	551	25.3	291	13.3	132	6.1	52	2.4	29	1.3	47	2.2
	計	10 936	3 546	32.4	1 754	16.0	803	7.3	411	3.8	219	2.0	359	3.3

表4 総合評価

区 分	受診者数	A：異常なし		B：要注意		C：要予防処置		D：要検査		E：要治療		F：治療中		G：その他		判定なし		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%			
総 数	男	8 756	1 358	15.5	1 288	14.7	2 705	30.9	161	1.8	2 569	29.3	672	7.7	3	0.0	0	—
	女	2 180	541	24.8	413	18.9	551	25.3	28	1.3	433	19.9	214	9.8	0	—	0	—
	計	10 936	1 899	17.4	1 701	15.6	3 256	29.8	189	1.7	3 002	27.5	886	8.1	3	0.0	0	—

表5 歯みがきの状態

区分	受診者数	1：良好		2：ほぼ良い		3：やや不良		4：不良		記入無し		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	男	8 756	1 709	19.5	4 896	55.9	1 987	22.7	164	1.9	0	-
	女	2 180	803	36.8	1 132	51.9	238	10.9	7	0.3	0	-
	計	10 936	2 512	23.0	6 028	55.1	2 225	20.3	171	1.6	0	-

表6 唾液潜血検査

区分	受診者数	-		+		++		検査中止		
		数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	男	8 756	6 511	74.4	2 201	25.1	43	0.5	1	0.0
	女	2 180	1 716	78.7	460	21.1	4	0.2	0	-
	計	10 936	8 227	75.2	2 661	24.3	47	0.4	1	0.0

歯周病の知識

歯周病（もしくは歯周疾患）は専門学会にて分類されています。大別すると「歯肉」に限局した病気なのか「歯槽骨」や「歯根膜」に達する（より重度の）病気なのか、ということです。

表 歯周病の分類（抜粋）

- | |
|--|
| 1. 歯肉病変
1) プラーク性歯肉炎
2) 非プラーク性歯肉炎
3) 歯肉増殖
2. 歯周炎
1) 慢性歯周炎
2) 侵襲性歯周炎 |
|--|

歯肉炎は比較的軽症で、治療と日常のケア（ブラッシング）で治療することが可能です。歯周病は

骨など歯周組織にまで波及した状態なので、完全に元には戻らず、継続した医学的管理（定期的な歯科受診および専門的なセルフケア）が必要になります。

歯周炎は自然治癒がないのです。歯周炎が見つかったら、それは早期に受診行動をとり、生涯に渡り咬むことができるように（歯を失わないように）管理する必要があります。これは慢性的、いわば生活習慣病なのです。

下に代表的なお口の状態を示します。写真は高血圧治療に用いられるカルシウム拮抗薬の副作用で発症することがある「歯肉増殖症」です。歯茎が増殖して、食事の際に食べ物が当たって痛くて噛めない、という状態です。お口の健康と全身との関連を知ることで健康管理意識を高めて欲しいと思います。



薬物性歯肉増殖症の例

野村典生、菅 武雄、山本 健、新井 高、森戸光彦：
 「糖尿病を伴う高血圧症・不整脈患者に発症したニフェジピン性歯肉増殖症の治療経過—術後2年経過の1症例—」
 老年歯学、15(1)：58-63、2000.